



式を企画・運営した若人の今とこれから

成人式の企画・運営は、新成人で組織する「成人式実行委員会」が担った。昨夏から、定期的に打ち合わせを重ねて準備をしてきた彼ら。プログラムの作成から記念品の手配、当日の司会・進行まで、実行委員の存在なくして成人式の成功は語れない。3会場の実行委員の代表に話を聞いた。



実行委員が作成したプログラム。
左から黒磯・西那須野・塩原



Yuta Ohbayashi

平成29年度那須塩原市成人式実行委員会
委員長・黒磯地区分科会長
大林 裕太 (黒磯中)
大学生 夢：那須塩原市を盛り上げる

自らの内に芽生えた覚悟と責任感

実行委員長という責任の重さから、最初は就任をためらったという大林さん。しかし、「自分がやるしかない」と腹を決め、全力を注いだ彼は、式後とても清々しそうだった。委員の中には地元から出ている人が多く、彼も福島県に住んでいる。そのため、会議への参加にしても、はるばる来なくてはならなかった。会議になかなか出席できない人がいる中で、仲間とのコミュニケーションを大切に、なんとか式を成功に導くことができた。「委員長として至らない点は多くありますが、社会人としての覚悟が生まれました」。最後までやり抜いた彼からは、背負ってきた重責を果たした達成感が漂っていた。誓いの言葉を読み上げた時もそれほど緊張しなかったという彼。子どもの頃から、巻狩太鼓の演奏で幾度となくステージに立ってきた



経験は、こんなところでも役に立った。「大切なのは仲間がいること。『あいつが頑張っているんだから』と思うと自分も頑張れます」と語る彼の周りにはたくさんの仲間が。これから先の長い人生で、壁にぶつかることもあるかもしれない。しかし、彼なら仲間と切磋琢磨しながら、どんな高い壁でも乗り越えていけるはず。そう確信させるほど、未来を見つめる彼の目は力強く輝いていた。

若者が輝ける未来へ向かって

若者の活力がまちの未来へ
「育ててくれた家族やふるさとに恩返しをしたい」「仲間とともに切磋琢磨していきたい」。家族、仲間、ふるさとなど、自分を育ててくれたあらゆるものに対する感謝を感じた成人式だった。新成人へのインタビューでは、東京などの都心に対して憧れを持つ声が多かった一方で、現在都心に住む人を中心に「将来は地元に戻りたい」という声も聞くことができた。このように、地元に対する愛着を持っている若者が多いことも、やがて地域の活力になる。ただ、彼らが地元・那須塩原で夢を実現するためには、活躍の場や生活の基盤がなくてはならない。**キーワードは、雇用。**少子高齢化が加速し、経済を支える生産年齢人口も減少の一途を辿る現代。次代を担う若者への期待が高まる一方で、負担が重くなっていく将来に、不安を感じている若者も少なくないだろう。市では、栃木労働局と協定を結び、連携しながら若年層を中心とした雇用対策に取り組んでいる。4月からは市内の雇用機会の創出につなげるため、企業立地促進条例を施行し、市内に立地している企業や、新たに進出する企業を後押ししていく予定だ。

一生に一度の成人式。
少しでもみんなの
力になれたなら――



Nao Sahara

副委員長・塩原地区分科会長
佐原 菜桜 (箒根中)
専門学校生 夢：都会で働く

仲間や両親に感謝。
信頼関係づくりって
尊いものですね



Ayano Kitami

副委員長・西那須野地区分科会長
北見 綾乃 (西那須野中)
大学生 夢：作業療法士

塩原地区の成人式参加者は51人。小規模であるからこそみんなの顔や名前が分かり、アットホームな雰囲気が漂う。そんな会場の代表を務めた佐原さんは「一生に一度の成人式なので、少しでも力になって成功させたい」、その一心で実行委員を引き受けた。懐かしい友人と過ごした成人式を「感慨深いというか、感動したというか、そんな気持ち」と振り返りながら、「思い出とかお互いの近況とかを話しました」と続けた。現在、専門学校で臨床検査技師になるための勉強をしている彼女。都会での生活や一人暮らしに対する憧れがある一方、「地元が好きなので、ゆくゆくは帰ってきたいです」と、地元での将来像も描いている。

リハビリなどを通して、幅広い世代の人と向き合う作業療法士、それが北見さんの夢。実行委員の活動を「初対面の人もいたけど、みんなの支えもあり、新しい仲間もできました」と笑顔で振り返る。時間を共有して仲間と信頼関係を深めるプロセスは、リハビリで患者と向き合う作業療法の仕事にも重なる。式当日を迎え、「振袖に手を通したとき『いよいよ成人なんだ』と実感がわいてきました。直接は言うのは照れくさいけど両親にも感謝しています」と親への思いにもじませた。今年から実際に患者と接する実習が始まる。「これからは大切な時期なので、日々の学びの機会を大切にしていきたいです」と話してくれた。

